

東日本大震災・原子力災害 第3回 学術研究集会プログラム

2025年（令和7年）3月19日（水）～20日（木）

会場：コラッセくしま4階（福島県福島市三河内町1番20号）

3月19日（水）	3月20日（木）
09:30 受付開始（名札配布、出入記録）	10:30 受付開始（名札配布、出入記録）
10:00-12:00 日誌発表（セッション1）[A・B・C会場]	10:20-12:00 日誌発表（セッション4）[A・B・C会場]
13:20-13:30 昼食休憩（A会場）	13:30-15:30 日誌発表（セッション5）[A・B・C会場]
13:30-15:30 日誌発表（セッション2）[A・B・C会場]	
15:40-17:40 日誌発表（セッション3）[A・B・C会場]	

3月20日（木）
10:30 受付開始（名札配布、出入記録）
10:20-12:00 日誌発表（セッション4）[A・B・C会場]
13:30-15:30 日誌発表（セッション5）[A・B・C会場]

A会場	4階	多目的ホール
B会場	4階	研修室
C会場	4階	小会議室402

19日（1日目）

発表者	開始時刻	氏名	所属	発表題目
1 A				
安田 伸宏（福井大学附属国際原子力工学研究所/東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・A会場 10:00	健康・放射線影響	AKZHOLOVA	MNagasaki University, Disaster and Radiation Medical Sciences	Temporal Variations in Radionuclide Concentrations in Foods Produced in Tereoka Town within a 20km Radius of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant and the Evaluation of Committed Effective Doses
午前・A会場 10:20	コミュニティ	ZABROVA	Aizu Nagasaki University	Impact of the discharge of treated water on former residents' intention to return to their home towns around TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station
午前・A会場 10:40	コミュニティ	河 夢奈	Nagasaki University	Addressing Stigma and Promoting Community Recovery in Post-Fukushima Fukushima
午前・A会場 11:00	コミュニケーション	川 雄	長崎大学環境健康学研究所国際医療保健福祉学研究所	Comparative Analysis of Public Concerns Regarding Treated Water Discharged from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: Perspectives before and after the Initial Release
午前・A会場 11:20	コミュニケーション	TERADA	Takeshi 長崎大学環境健康学研究所	Investigating the Public's Acceptance of Recycling Contaminated Soil in the Areas Where People Live, and the Factors Related to the Public's Acceptance
午前・A会場 11:40				
1 B				
開沼 博（東京大学大学院情報学術院/東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・B会場 10:00	産業	橋本 善己	東京大学	福島復興を再考する—双葉町・大原町・富岡町・浪江町の飲食店に着目して—人手の調達における実態と課題、そのプロセス—
午前・B会場 10:20	産業	吉田 雅也	筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学学研究所	福島復興を再考する—双葉町・大原町・富岡町・浪江町の飲食店に着目して1）—飲食店事業者の語と実践に準ずる持続性に向けた課題抽出—
午前・B会場 10:40	コミュニケーション	井上 天嗣	成蹊大学	災害影響消滅時代の東日本大震災・原子力災害に対する「科学的復興」——飲食店事業者の語と実践に準ずる持続性に向けた課題抽出——
午前・B会場 11:00	コミュニケーション	河田 隆博	白河高等学校	高年世代による災害被害の再評価
午前・B会場 11:20	コミュニケーション	松尾 雄乃	関西学院大学	福島復興における、原子力災害被害者の声の注目と、クライシスコミュニケーション上の課題は何か？—令和6年福島沖地震以降 2024年の事例を分析—
午前・B会場 11:40	行政・防災対策	高巻名悠希	常盤大学/VICSトレスコアオフィス	「やまにいばんでばらまきたいわい」が持つ災害者への防災啓発ツールとしての汎用性
1 C				
山田 修司（東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・C会場 10:00	健康・放射線影響	大沼 淳一	本来につなげる東海ネット・市民放射能測定センター	原発事故と放射線被ばくによるリスク論 - 低線量被ばくによる健康被害リスクは実質—福島県不明原因で被害者も立ち入りさせないために
午前・C会場 10:20	健康・放射線影響	石川 洋行	明治学院大学	3.11以後の地域社会と科学的知の産生と実践——「科学的復興」をめぐる社会人権学の視点から
午前・C会場 10:40	健康・放射線影響	伊藤 浩志	フーランス	なぜ復興の社会的決定要因は浸透されてしまうのか？放射線被害の健康被害を正しく評価することが真の復興を促す
午前・C会場 11:00	健康・放射線影響	八池 俊喜	原子力市民委員会	ポスト3.11と市民性—原発事故の実態をどう見るか—
午前・C会場 11:20	健康・放射線影響	藤田 康光	みんなのアンケート	市民放射能測定装置開始調査の結果から
午前・C会場 11:40	健康・放射線影響	大沼 孝子	Mina-no Data Site "Takai Net for the Future: Citizen's Radiation Mess	みんなのデータサイト—出雲・タケノコ—モニタリング放射線測定プロジェクト結果について—「測って判断」のすすめ—
2 A				
葛西 優香（東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・A会場 13:30	コミュニケーション	多田 健太	東京大学大学院 学際情報科学府	「災害を伝える」というコミュニケーション過程に関する研究
午前・A会場 13:50	コミュニケーション（仮案）	山田 謙也	東京工業大学	大規模災害発生後社会のシミュレーションによる危機対応シナリオの観点から—
午前・A会場 14:10	コミュニケーション（仮案）	佐藤 公	磐城山形県立総合	災害伝承と語り—磐城山の火山災害とジオパークから考える—
午前・A会場 14:30	コミュニケーション（仮案）	小原 直輝	関西学院大学社会学部社会学研究科	原発事故後のまちづくりにおいてどこに住居が争奪されたか——双葉町の復興まちづくり計画（第一次）における住民間の分析——
午前・A会場 14:50	コミュニケーション（仮案）	小林未理菜	福島県立総合技術専門学校	「震災体験と語り」の復興から考える震災伝承について
午前・A会場 15:10	コミュニケーション（仮案）	葛西 優香	東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学術院	復興過程のまちづくり——語りからの発信——
2 B				
松本 紀都美（長崎大学原爆健康影響学研究所/東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・B会場 13:30	コミュニケーション（教育）	牧田 美江	東京大学	技術士「原子力・放射線部門」の制度変遷とその問題点の分析
午前・B会場 13:50	コミュニケーション（教育）	山田 泰洋	福島大学	原子力と主観としたSTEM教育を促進する基盤技術の育成と実践の課題
午前・B会場 14:10	コミュニケーション（教育）	岡田 彩乃	会津学院大学地域学協働学際学際学	博覧強識の防災教育の意義—防災教育で育まれる力と学習指導要領：キャリア教育との関連性—
午前・B会場 14:30	コミュニケーション（教育）	岡田 裕	東北大学大学院国際研究科	震災デジタル社会とつながる防災教育の進化—デジタル活用プラットフォーム—学校教育の防災リソース向上のための実践と研究の展望—
午前・B会場 14:50	コミュニケーション（教育）	平井 俊秀	大阪府立長尾高校 理科研究部 部活動指導員（アルバイト）	福島県復興に関する STEM 教育教材の開発—原発・多量防護、電気料金、意識決定、放射能汚染の被害者の権利、ロールプレイ、ディベートを中心に—
午前・B会場 15:10	コミュニケーション（仮案）	松本紀都美	長崎大学原爆健康影響学研究所	福島県活動する語り部の特徴と困難性に関する要因
2 C				
静岡 健人（東日本大震災・原子力災害伝承館）				
午前・C会場 13:30	健康・放射線影響	福原まどか	関西大学、社会安全学部	自己による災害関連死の発生プロセスに関する一考察
午前・C会場 13:50	健康・放射線影響	伊田 香音	関西大学、社会安全学部	東日本大震災後の福島県における避難先で発生した被害の分析
午前・C会場 14:10	健康・放射線影響	松崎 佑哉	長崎大学原爆健康影響学研究所	福島第一原発事故後の公衆のメンタルヘルスと放射線リスク認知との関連
午前・C会場 14:30	健康・放射線影響	松本 佐幸	関西大学、社会安全学部	災害関連死と生活動向の移動に関する一考察—東日本大震災における福島県避難者に関する事例—
午前・C会場 14:50	健康・放射線影響	山村 純史	福島県立医科大学、放射線健康物理学講座	福島県における災害関連死と、その発生要因の調査
午前・C会場 15:10	健康・放射線影響	清水 亮樹	東北福祉大学	こども期の被災経験が家族制度に与える影響に関する研究—中東生時代に東日本大震災で被災した若者たちの語りから—
3 A				
除本 理史（東日本大震災・原子力災害伝承館/大阪公立大学）				
午前・A会場 13:40	行政・防災対策	奥嶋 佑介	関西大学大学院、社会安全研究科	津波避難開始における住民の判断特性の違いを考慮した避難行動の数理解析
午前・A会場 14:00	行政・防災対策	大沼 謙也	東北大学	放射性物質汚染地域の住民の意思決定に関する検討—自治体からの検討—
午前・A会場 14:20	行政・防災対策	佐藤 空琉	東北大学	福島県原子力災害被災地で母体的な災害への備えに課題が生じていることの原因の把握
午前・A会場 14:40	コミュニティ（仮案）	山田 修司	東日本大震災・原子力災害伝承館	震災伝承施設は観光対象か？2024・2025年ウェブ調査報告
午前・A会場 15:00	コミュニティ（仮案）	除本 理史	九州大学、共同研究部	震災体験の語りの方と時間的構造—福島県双葉町での語り部と併歩きの事例から—
午前・A会場 15:20	コミュニティ（仮案）	除本 理史	大阪公立大学大学院経営学研究所	福島県発祥における民間防災活動の活用促進—地元メディアと連携した取り組み—
3 B				
中山 千尋（福島県立医科大学）				
午前・B会場 15:40	健康・放射線影響	中村 美穂	東北大学大学院	原子力災害時に指定箇所の汚染検査を行う装置のβ線源を用いた評価
午前・B会場 16:00	健康・放射線影響	岩崎 洋亮	福井大学	人工知能シミュレーションを用いた原子力災害避難時の事故機軸に基づく健康モニタリング体制の検討
午前・B会場 16:20	健康・放射線影響	田中 真子	東北大学大学院国際研究科	被災に際した避難者が被災地内放射能測定に及ぼす影響に関する基礎的検討
午前・B会場 16:40	健康・放射線影響	岡田 彩乃	東北大学、バムツケル大学名誉教授	被災地放射能の読み
午前・B会場 17:00	健康・放射線影響	中山 千尋	福井大学	東電福島第一原発事故5日間の即時空間情報の統合による放射線防護対策の検証（2）
午前・B会場 17:20	健康・放射線影響	中山 千尋	福島県立医科大学	「低レベル放射線曝露と自己症状」有病率の関連に関する疫学調査—この調査は双葉町での暴息を計測していない—
3 C				
吉田佳乃子（福井大学）				
午前・C会場 15:40	健康・放射線影響	緒方 良至	愛知医科大学	ケイ酸バリウムを主成分とするストロンチウム吸着剤の吸着特性
午前・C会場 16:00	健康・放射線影響	佐藤 拓	東北大学理学部科学情報研究所	原子力災害に起因する低線量放射線（X線）の生物学的指標に関する検討
午前・C会場 16:20	健康・放射線影響	秋津 彩乃	東北大学大学院	住民用個人線量計設置に関する基礎的検討
午前・C会場 16:40	コミュニケーション	河野 悠希	一般社団法人 日本保健物理学会	福島第一原子力発電所事故後のウェブサイトを「専門家」が伝える暮らしの放射線（R&A）の活動内容分析と得られた教訓—この経験を未来に伝えるために—
午前・C会場 17:00	コミュニケーション	藤井 優希	東北大学	3.11時の避難指示とフェイクニュースの発生—その発生原因の調査—
午前・C会場 17:20	健康・放射線影響	吉田佳乃子	福井大学	東電福島第一原発事故5日間の即時空間情報の統合による放射線防護対策の検証（3）

20日（2日目）

発表者	開始時刻	氏名	所属	発表題目
4 A				
橋本 真典（大阪経済大学）				
午前・A会場 10:20	コミュニティ	伊東 尚美	福島県立医科大学原子力放射線健康学管理学講座	東日本大震災後の相馬湾戸籍長屋は被災高齢者の生活再建にどう貢献したか——長屋入居者32人へのインタビュー調査——
午前・A会場 10:40	産業	藤原 隆乃	福島大学	震災前後における福島県産日本酒の流通構造の変化とその特徴—遠藤隆乃・小山良次 福島大学農学研究所・福島大学農学学部
午前・A会場 11:00	コミュニティ	橋本 真典	一橋大学大学院社会学研究科修士課程2年	被災したコミュニティにおける「社会関係」の再形成の困難
午前・A会場 11:20	産業	山田 拓実	東京大学大学院	風通り中4階のサブライエーションに関する実証と課題—浪江町の飲食店を対象としたケーススタディ
午前・A会場 11:40	コミュニティ	橋本 真典	大阪経済大学	原子力発電所の立地地域における区域人口増減
4 B				
阿部 あや（東京大学大学院情報学術院）				
午前・B会場 10:00	コミュニケーション	静岡 健人	東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・原子力災害に関する社会課題への人々の関心の風化—東北3県と3大都市圏の在住者を対象としたWBS調査データを用いて—
午前・B会場 10:40	コミュニケーション	矢内理子	同志社大学 人文科学研究科	『前日新聞』『毎日新聞』の福島第一原発事故報道—著名記事からみた地方支助の記者の働き—
午前・B会場 11:00	コミュニケーション	中込 達也	東京大学大学院情報学術教育部	「SNSネイティブ世代」の情報行動と防災
午前・B会場 11:20	コミュニケーション	原田 理沙	慶應義塾大学	東日本大震災・原子力災害の経験者が語ること—語り部の語りへの分析—
午前・B会場 11:40	コミュニケーション	阿部 あや	東京大学大学院情報学術院	農協の災害対応に組合員の帰属意識——いわき県における組合員ロイヤリティ調査から——
4 C				
横 清司（東京大学大学院情報学術院）				
午前・C会場 10:20	健康・放射線影響	鈴木 正敏	東北大学	福島第一原発事故で生じた不溶性セシウム粒子による細胞影響解析
午前・C会場 10:40	健康・放射線影響	山本 登介	東北大学大学院	β線を用いた原子力発電所放射線モニタリングシステムにおけるγ線影響の検証——β計測器、NaI(Tl)シンチレーション計測器との比較——
午前・C会場 11:00	行政・防災対策	河野 高博	人と防災未来センター	防災リスクの軽減—避難誘導—市町村の防災
午前・C会場 11:20	行政・防災対策	榎野日向子	京都大学大学院	メンタルモデルを用いた原子力災害広域避難計画の策定プロセスにおける利害関係者のコミュニケーションの評価
午前・C会場 11:40	行政・防災対策	横 清司	東京大学大学院情報学術院	東日本大震災と原子力災害からの長期復興課題にある行政組織で働く職員のモチベーション要因の分析
5 A				
小山良次（東日本大震災・原子力災害伝承館/福島大学農学学部）				
午前・A会場 13:30	コミュニケーション	折井 李浩	大田高等学校	福島第一原発事故の除去と課題におけるメディア報道の特徴と認知への影響
午前・A会場 13:50	コミュニティ	伊藤 美生	東日本大震災・原子力災害健康リスク研究員、青山学院横浜キャンパス	福島県双葉町におけるご当地キャラクターの役割と住民とのつながりの変遷
午前・A会場 14:10	コミュニティ	加藤 雅高	福島大学	原子力災害被災地域における居住者の検証分析
午前・A会場 14:30	産業	八島 祐乃	福島大学農学学部	ナンの輸出における輸出相手国の消費ニーズ——いわき市産ナンのペトナム輸出を対象に——
午前・A会場 14:50	コミュニティ	橋本 真典	一橋大学大学院社会学研究科	福島第一原子力発電所の周辺住民の避難行動
午前・A会場 15:10	産業	藤原 隆乃	福島大学農学学部	パッケージに対する消費者評価——いわき市産トマトのブランド化に向けて——
5 B				
安本真由（東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学術院防災情報研究センター）				
午前・B会場 13:30	コミュニティ	三浦 雅哉	東京大学大学院情報学術院	2018年以降のロケーションデータから読み取る福島県双葉郡町村の時系列変化
午前・B会場 13:50	コミュニティ	橋 浩博	大阪大学大学院社会学研究科	福島県双葉町地域の移住と地域経済活性化の課題と可能性
午前・B会場 14:10	コミュニケーション	INO Kazuko	Louis Pasteur Center for Medical Research	避難先、汚染地、トリウム、helium3による議論の再考——肯定、否定、内容の推移——
午前・B会場 14:30	コミュニケーション	長崎 忍	福島大学システム理工学	ALPS処理水に関する換気作品の特性分析
午前・B会場 14:50	コミュニケーション	林 智裕	東日本大震災・原子力災害伝承館/ジャーナリスト	風評調査とインフルエンサーオペレーション——除染パブリックコメントに関するSNS投稿の分析——
午前・B会場 15:10	コミュニケーション	安本 真由	東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学術院防災情報研究センター	東日本大震災前後の「福島」に関する空想日本地図の差分分析—原子力災害に関するキーワードに着目して—
5 C				
中丸 和（大阪大学大学院/東京大学大学院情報学術院総合防災情報研究センター）				
午前・C会場 13:30	行政・防災対策	健 康和	東京大学大学院	広域圏を用いた東日本大震災における「2次避難」に関する探索的研究
午前・C会場 13:50	行政・防災対策	藤田 莉緒	福島大学	農業従事者の被災復興に関する一考察—福島県いわき市における令和元年東日本台風を事例に—
午前・C会場 14:10	行政・防災対策	森野 明子	宇都宮大学	外国人を含む地域防災のあり方とその検討——宇都宮市、仙台市、及び熊本市における事例調査を通じて——
午前・C会場 14:30	行政・防災対策	河野 真之	東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災における避難先での被災者への支援
午前・C会場 14:50	行政・防災対策	三好 美緒	京都教育大学/東京都立中学校	自家消費車を使用した長期的避難の現実と求められる支援策の検討
午前・C会場 15:10	行政・防災対策	中丸 和	大阪大学大学院/東京大学大学院情報学術院総合防災情報研究センター	災害時の教員加配活用施策が教員の「働つた」に与えた影響—原子力災害下における専門家としての教員の葛藤と覚悟に着目して—